



今年テーマ

2024年度のムサカツが始動！ 今年度のテーマは「まち」

11月24日（日）に、2024年度の武蔵野市中高生世代ワークショップ「Teensムサカツ」の初回が行われました！今年度は33名の参加者とともに、全6回のワークショップを行っていきます。運営は、昨年度に引き続きNPO法人文化学習協同ネットワークが担います。

今年度の年間テーマは「『こんなまちになったらいいな』を市政に」。武蔵野市でふだん過ごす中で感じている願いや課題など、中高生世代の「声」が多様にたくさん出てくる場になるといいなと願っています！

第1回オリエンテーション（11/24）の様子



アイスブレイク

「○○のとなりの△△ のとなりの～」

まずはお互いの名前を覚えるために、「となりのとなり」というゲームに挑戦。隣の人が出た内容（名前や趣味）を覚えて、「○○のとなりの△△です」とつなげていくもの。えーと、たしか、初めは苦戦する姿もありましたが、最後は10人以上のグループで成功！大きな拍手が occurred しました。



インタビューワーク

「聴く」をやってみる

第2回のフィールドワークに向けて、インタビューの練習。講師は、「Meetむさしの」の重岡さん。市民ライターとして、地域で活動をしている方々取材し、web等で発信している重岡さんに、「聴く」ときに大事にしていることを教えてもらい、参加者同士で質問しあうワークに挑戦しました！



次回の準備

3つのテーマから 「まち」を考えよう！

「まち」について考える上で、今年度は3つのテーマに分かれます。

- A. 中高生世代の居場所
- B. まちのにぎわい・商店街
- C. 地域づくり、地域活動

次回のフィールドワークに向けて、グループごとに、訪問予定の場所を確認したり、知っていることを出しあったり、質問をつくったりしました。

第2回フィールドワーク（12/8）の様子

Aグループ「あそぶ・まなぶ」

武蔵野プレイスってどんな場所？

Aグループは「武蔵野プレイス」に出かけてきました。館内見学ではプレイスを利用したことのあるメンバーでも知らない場所があり、発見と驚きの連続でした。その後は、職員の矢澤さんからお話を伺いました。成り立ちの経緯や感じている課題が聞けただけでなく、みんなで考えた質問にも丁寧に答えてもらい、今後へのヒントと刺激をもらいました。



Bグループ「くらす・はたらく①」

商店街って必要？

このグループは、武蔵野市中央地区のグリーンパーク商店街を中心とした「MUSASHINO MID TOWN」へ出かけてきました。このプロジェクトを手掛ける舟木さんにお話を伺いながら、「商店街って必要？」という問いについて考えてみる、実際の商店街を覗いてみるという構成。フィールドワークからそのまま現地解散となってしまったため、第3回でメンバーたちの受け止めに聞くのが楽しみです。



Cグループ「くらす・はたらく②」

「ちいき」にはどんな人がいるの？

「地域づくり・地域活動」などがテーマのCグループが訪れたのは吉祥寺北コミュニティセンター。北コミで運営委員を務める若者世代3名と、桜野地区で地域活動されている後藤さんにお話を伺いました。どんな活動をしているの？なぜ今の活動をしているの？どんな課題がある？など、質問が次々とびかい、あっという間の午前中。「地域」について少しイメージが広がりました。



編集後記

今年度のムサカツが始まりました！みなさんどうぞよろしく申し上げます^^
さて、今年も休憩中に「糖分補給」のお菓子を準備していますが、実は去年の参加者の「やっぱりお菓子は必要です…」というつぶやきがきっかけです。みなさんが好きなお菓子って？最近流行っているお菓子って？毎回盛りだくさんな内容ですが、「糖分補給」しながら一緒に今年度のムサカツをつくっていきましょう！（Y）

企画・運営

特定非営利活動法人
文化学習協同ネットワーク